



このマニュアルについて

はじめに

ここでは、『Cisco Service Control Application for Broadband ユーザガイド』の対象読者、構成、ドキュメントの表記法、マニュアルの入手方法、およびテクニカルサポートについて説明します。

このガイドは、Service Control ソリューション、Service Control Engine (SCE) プラットフォーム、および関連コンポーネントの概念に関する基本的な知識があることを前提としています。

マニュアルの変更履歴

表 1 は、このマニュアルにおける変更内容を記録したものです。

表 1 マニュアルの変更履歴

リビジョン	Cisco Service Control リリースおよび日付	変更点
OL-21064-01-J	リリース 3.6.x 2010 年 3 月 28 日	このマニュアルの初版 「Service Configuration Editor の使用方法：トラフィックの制御」(P.9-1) の「クォータの管理」(P.9-76) に示されているクォータ コンフィギュレーションの変更に関する説明を更新しました。

マニュアルの構成

表 2 に、このマニュアルの構成を示します。

表 2 マニュアルの構成

セクション	タイトル	説明
1	「Cisco Service Control の概要」 (P.1-1)	Service Control ソリューションの概要を示します。
2	「システムの概要」 (P.2-1)	Service Control ソリューションの機能的な概要を示します。
3	「トラフィック処理の概要」 (P.3-1)	Service Control ソリューションの技術的な概要を示します。
4	「使用する前に」 (P.4-1)	SCA BB のインストール手順およびアップグレード手順を説明し、ツールの集合体としての Console について説明します。
5	「Network Navigator の使用方法」 (P.5-1)	Service Control ソリューションの一部となる装置のモデルをネットワーク ナビゲータを用いて作成し、これらの装置をリモートで管理する方法を説明します。
6	「Service Configuration Editor の使用方法」 (P.6-1)	Service Configuration Editor を使用してサービス コンフィギュレーションを管理する方法を説明します。
7	「Service Configuration Editor の使用方法：トラフィックの分類」 (P.7-1)	サービス コンフィギュレーションを使用してトラフィックを分類する方法を説明します。
8	「Service Configuration Editor の使用方法：トラフィックのアカウントティングとレポート」 (P.8-1)	サービス コンフィギュレーションを使用してトラフィックをレポートする方法を説明します。
9	「Service Configuration Editor の使用方法：トラフィックの制御」 (P.9-1)	サービス コンフィギュレーションを使用してトラフィックを管理する方法を説明します。
10	「Service Configuration Editor の使用方法：その他のオプション」 (P.10-1)	Service Configuration Editor のオプションを説明します。
11	「Subscriber Manager の GUI ツールの使用方法」 (P.11-1)	SM GUI ツールを使用して SCMS-SM データベースにサブスクライバを設定する方法を説明します。
12	「Signature Editor の使用方法」 (P.12-1)	Signature Editor ツールを使用して SCA BB にファイルを作成し、プロトコルをアップデートする方法を説明します。
13	「その他の管理ツールおよびインターフェイス」 (P.13-1)	SCA BB で使用できるその他のツールについて説明します。

関連資料

この『Cisco Service Control Application for Broadband ユーザガイド』は、次のシスコ製品のマニュアルと併せてご利用ください。

- 『Cisco Service Control Application for Broadband Reference Guide』
- 『Cisco Service Control Application for Broadband Service Configuration API Programmer Guide』
- 『Cisco Service Control Management Suite Collection Manager User Guide』
- 『Cisco Service Control Management Suite Subscriber Manager User Guide』
- 『Cisco Service Control Application Reporter User Guide』
- 次の SCE プラットフォーム インストールおよびコンフィギュレーション ガイド
 - 『Cisco SCE 1000 2xGBE Installation and Configuration Guide』
 - 『Cisco SCE 2000 Installation and Configuration Guide』
 - 『Cisco SCE8000 10GBE Installation and Configuration Guide』
 - 『Cisco SCE8000 GBE Installation and Configuration Guide』
- 『Cisco SCE 2000 and SCE 1000 CLI Command Reference』
- 『Cisco SCE8000 CLI Command Reference』
- 『Cisco SCE 2000 and SCE 1000 Software Configuration Guide』
- 『Cisco SCE8000 10GBE Software Configuration Guide』
- 『Cisco SCE8000 10GBE Software Configuration Guide』

表記法

このマニュアルでは、次の表記法を使用しています。

表 3 **表記法**

表記法	説明
太字	コマンド、キーワード、およびユーザが入力するテキストは、 太字 で示しています。
イタリック体	マニュアルのタイトル、新出用語または強調する用語、およびユーザが値を指定する引数は、 <i>イタリック体</i> で示しています。
[]	角カッコの中の要素は、省略可能です。
{ x y z }	必ずどれか 1 つを選択しなければならない必須キーワードは、波カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
[x y z]	どれか 1 つを選択できる省略可能なキーワードは、角カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
string	引用符を付けない一組の文字。 string の前後には引用符を使用しません。引用符を使用すると、その引用符も含めて string と見なされます。
courier フォント	システムが表示する端末セッションおよび情報は、courier フォントで示しています。
< >	パスワードのように出力されない文字は、山カッコで囲んで示しています。
[]	システム プロンプトに対するデフォルトの応答は、角カッコで囲んで示しています。
!、#	コードの先頭に感嘆符 (!) またはポンド記号 (#) がある場合には、コメント行であることを示します。



(注)

「注釈」です。役立つ情報や、このマニュアル以外の参照資料などを紹介しています。



ヒント

「問題解決に役立つ情報」です。ヒントには、トラブルシューティングや操作方法ではなく、ワンポイントアドバイスと同様に知っておくと役立つ情報が記述される場合もあります。



注意

「要注意」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。



ワンポイントアドバイス

「時間の節約に役立つ操作」です。記述されている操作を実行すると時間を節約できます。



警告

「警告」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『*What's New in Cisco Product Documentation*』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。

